

沿革

- 1968年4月 「財団法人秋田県中小企業設備貸与公社」として設立
- 1971年5月 「財団法人秋田県中小企業振興公社」に名称変更
- 2000年4月 秋田県テクノポリス開発機構を統合、
「財団法人あきた産業振興機構」となる
- 2005年4月 県のマーケティング室・技術移転促進チーム、
県企業支援センターの機能を統合、
「財団法人あきた企業活性化センター」となる
- 2006年4月 秋田県知的所有権センターを統合
- 2012年4月 「公益財団法人あきた企業活性化センター」に移行
- 2013年4月 あきた産業デザイン支援センターを統合

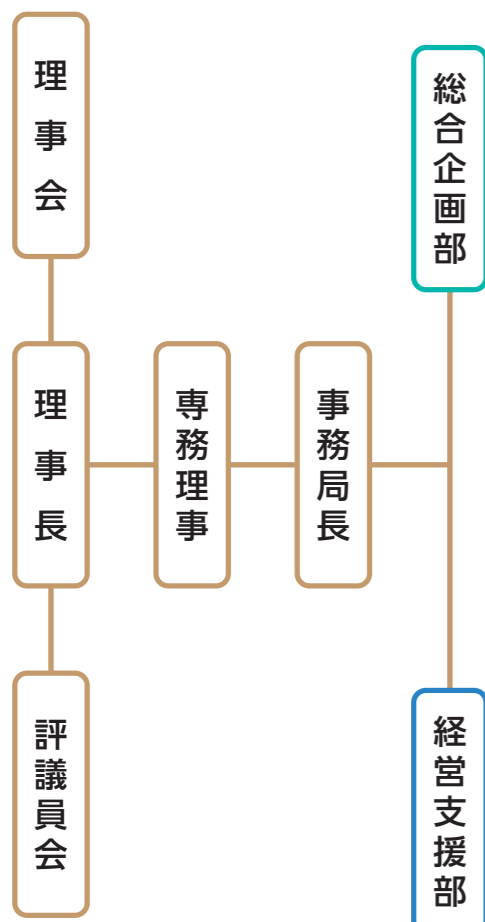
アクセス方法

- 路線バス 秋田駅より県庁・市役所方面行き
県庁第二庁舎前下車
- タクシー 秋田駅より約10分



〒010-8572 秋田県秋田市山王三丁目1-1 秋田県庁第二庁舎2階

公益財団法人あきた企業活性化センター 2026年度 組織体制



■総務広報課

- 総務・経理・企画・調整
- 広報・情報誌の発行

■総合相談課

- 経営課題の解決に向けた支援制度の紹介
- 専門家の派遣

■知財・デザイン支援課

- 秋田県知財総合支援窓口による知的財産活用の支援
- 外国への特許・商標等の出願支援 [補助金]
- 産業デザインに関する助言

□秋田県よろず支援拠点(生産性向上支援センター)

- 県内中小企業・小規模事業者のためのワンストップ経営相談
- 複数回の現場訪問による生産性向上の支援

□秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点

- プロフェッショナル人材獲得の支援

■取引振興課

- 受発注企業のマッチング支援、商談会の開催
- 企業間取引におけるお悩みやトラブルに関する相談
- 県内企業のコア技術の発掘から事業化に至るまでの一貫支援
- 輸送機関連産業の支援

■新事業・設備支援課

- 起業支援、創業支援室の提供
- コワーキングスペース[ACTIVE!スペース]の運営
- 設備の割賦販売・リース
- 研究開発・新商品開発の支援 [補助金]
- 競争的研究開発資金の提案・事業推進の支援
- ライフサイエンス分野の事業推進支援 [補助金]

営業時間 月曜日～金曜日 8:30～17:15

TEL 018-860-5610 FAX 018-863-2390 <https://www.bic-akita.or.jp/>



2026年度 総合業務案内

公益財団法人 あきた企業活性化センター

Action Continue Try Information Visit Expert!

がんばる企業を応援します!

経営について
相談したい

技術を開発したい
製品化したい

設備投資を
したい

取引を
広げたい

創業支援室を
利用したい

ACTIVE!
SPACE
コワーキング
スペースを
利用したい

企業情報が
ほしい

知的財産を
活用したい



あきた企業活性化センターの支援メニュー

あきた企業活性化センターでは
相談される皆様の各成長ステージに合わせ、
様々なメニューを活用して
ワンストップで総合的な支援を行います。



起業 お問い合わせ

創業支援室・コワーキングスペースの提供	起業家や新事業分野進出を目指す企業に事務スペース(創業支援室)を提供し、入居者が抱える様々な課題の解決を支援するほか、無料で使えるコワーキングスペース「ACTIVE!スペース」を提供します。	E
起業家等交流会の開催	県内外のスタートアップロールモデル等を招へいし、県内の起業家同士等による相互交流を図ります。	E
起業家との連携促進支援	企業とスタートアップ等起業家との協業の推進を通じ、企業の経営課題の解決やスタートアップの立ち上げ・成長を支援します。	E

経営相談 お問い合わせ

経営相談への総合的な対応	窓口相談や企業訪問等により、経営等に対するアドバイスや各種支援策の提案、関係機関等への取り次ぎなど、総合的な支援を行います。	B
専門家の派遣	企業が抱える経営課題に対し、センターに登録されている各種分野の専門家を派遣し、診断・助言を行うほか、適正かつ円滑に価格転嫁を行いたい企業を伴走支援します。	B
秋田県よろず支援拠点 生産性向上支援センター	県内の支援機関等と連携しながら、企業の経営相談にワンストップで対応するとともに、企業自らが経営課題に気づき解決できるよう支援します。「生産性向上支援センター」では、企業の生産性向上に関する相談に対し、複数回の現場訪問による伴走支援を通じて課題解決に向けた提案・助言を行います。	F
秋田県プロフェッショナル 人材戦略拠点	「攻めの経営」への転換や経営改善に意欲的な企業が必要とする、多種多様な“プロフェッショナル人材*”の活用を支援します。(※経営経験者、有資格者、副業人材等)	G
生産性向上への支援	生産性向上のための課題抽出やその解決に向けた取組について、アドバイザー等が改善指導やアドバイスを行います。	D
取引上のトラブルに関する相談	代金の未払いや不当要求、突然の取引停止など、企業間の取引に係るお悩みやトラブルに関する相談に対応します。	H

知財・デザイン活用 お問い合わせ

知財の総合支援窓口	特許や商標などの知的財産権の取得、技術やノウハウなどの営業秘密の管理、知的財産のビジネス活用など知財に関するお悩みや課題の解決を支援します。	C
外国出願への支援 補助金	海外での事業展開や模倣に対する対策のため、外国への特許・商標・意匠等の出願を支援します。	C
産業デザインに関する支援	商品開発、マーケティング・PR等について、デザイン活用の視点からの助言や、デザイナーとのマッチングを支援します。	C

設備導入 お問い合わせ

設備投資への支援	設備の導入により、経営基盤の強化を目指す企業に対し、必要とする設備を割賦販売またはリースします。	E
-----------------	--	---

販路開拓・取引拡大 お問い合わせ

取引のあっせん	県内ものづくり企業の取引拡大のため、首都圏および東北地区担当のアドバイザーによる発注案件の開拓や取引のあっせんを通じてマッチングの支援を行います。	D
商談会の開催	受注機会の拡大を図るため、受発注企業が一堂に会する商談会や発注企業を県内に招へいして行う個別マッチング商談会を開催します。	D
発注情報報告会の開催 受発注情報の提供	首都圏および東北地区担当のアドバイザーが収集した発注情報を報告会やWeb、E-mail、Fax等を通じて提供します。	D
輸送機関連産業の強化	輸送機関連メーカー等とのマッチング、新技術・新工法の芽出しを支援します。また、電動化等に対応するための部品・加工ニーズの収集や商談会を行います。	D
ものづくりへの一貫支援	企業のコア技術の発掘、共同研究体の形成、新製品・新技術の開発やビジネスマッチングなど、事業化に至るまでを一貫支援します。	D

商品開発・技術開発 お問い合わせ

研究開発の支援 補助金	中小企業者等と県内研究機関との共同研究による新技術や新商品の研究開発を支援します(あきた中小企業みらい応援ファンド)。	E
新商品開発の支援 補助金	中小企業者等と農林漁業者の連携体や、連携体を支援する団体が行う新商品や新サービスの開発とその販路開拓を支援します(あきた農商工応援ファンド)。	E
競争的研究開発資金の 提案・事業推進の支援	国等の競争的研究開発資金事業の提案支援や、国の成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)の事業管理機関として事業推進を支援します。	E
ライフサイエンス分野の 事業推進支援 補助金	県内企業のライフサイエンス関連分野への進出または販路拡大のための出展と、県内の産学等のグループが行うライフサイエンス分野の事業化に向けた研究会等の活動を支援します。	E

情報提供 お問い合わせ

情報誌『ビックあきた』	県内で活躍する事業者の紹介、イベント情報や各種支援施策・補助金等、経営に役立つ情報を提供する情報誌「ビックあきた」を毎月発行します。	A
ウェブサイト・メールマガジン	各種支援施策やイベント情報等をウェブサイトやメールマガジンを通じて発信します。 https://www.bic-akita.or.jp/	A

お問い合わせ先 各メニュー末尾のアルファベットに対応しています。

- | | |
|--------------------------------------|--|
| A 総務広報課……………018-860-5603 | F 秋田県よろず支援拠点……………018-860-5605 |
| B 総合相談課……………018-860-5610 | 生産性向上支援センター……………018-860-5609 |
| C 知財・デザイン支援課……………018-860-5614 | G 秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点……………018-860-5624 |
| D 取引振興課……………018-860-5623 | H 取引かけこみ寺……………018-860-5622 |
| E 新事業・設備支援課……………018-860-5702 | ※ 分からないときは……………018-860-5610へ! |